

1.10 生物化学的酸素要求量 (BOD) < JIS K 0102 21 ウィンクラー・アジ化ナトリウム変法 >
(平成3年度版の工数を掲載してあります)

(1) 調査工数

作業ランク		
イ	ロ	ハ

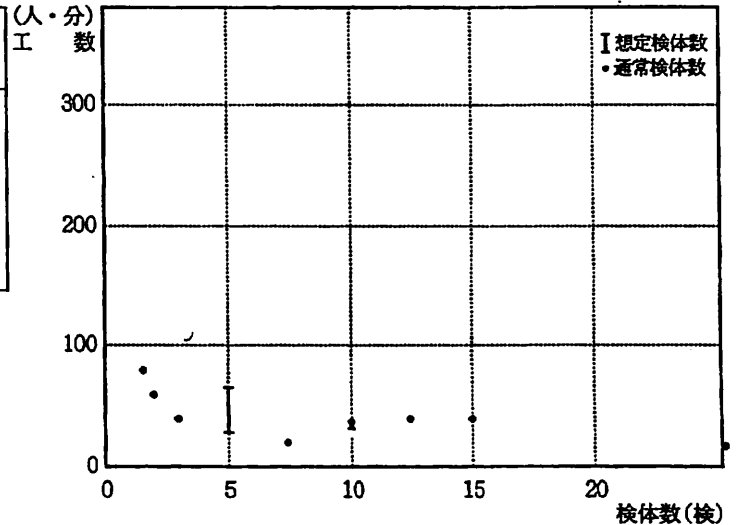
項目・内容	検体 10	備考
準備	125	105
試薬準備調製	45	10種類(うち、使用時調製2)
植種水採水	60	河川水採取
希釈水調製	10	
植種希釈水調製	10	
測定	370	318
希釈率計算	15	
ふらんびん用意	15	1検体12本
検水分取	20	
希釈分注	120	
溶存酸素測定	200	培養(20℃, 5日間)前後
後始末	60	59
器具洗浄・その他		
記録・整理	30	32
計算・記録整理		
計	585	514
工数(人・分) / 検体	60	51

条件: 1. 希釈は一般希釈法により行い, 1検体
当り3段階の希釈検水を調製するものとする。
2. 溶存酸素の測定はウィンクラー・アジ化ナトリウム変法によるものとする。
3. CODの測定に要する時間は含まないものとする。
4. その他酸化性, 還元性等の妨害物質は含まないものとする。
5. 所要時間には植種水のBODの測定(1回)を含む。

(2) 工数集計値

	準備	測定	始末	記録	合計	工数
検体数10						
最大値	140	400	100	70	655	66
最小値	25	160	30	20	280	28
平均値	105	318	59	32	514	51
標準偏差	28	64	15	9	94	10

(3) 検体数と工数



(4) 測定フロー

< 0.2 mg/l 以上 >

〔植種希釈水〕 試料

